

第 11 回日本内分泌病理学会学術総会プログラム

第 1 日 [平成 19 年 10 月 19 日 (金)]

11:00～12:00 理事会 (クリスタル D)

12:00～12:30 評議員会 (クリスタル A)

12:30～12:35 開会の辞 (ハynesホール)

12:35～13:15 甲状腺他 1 (ハynesホール)

座長 中島正洋 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科原研試料室

1. Culture system for studying thyroid biology

Shuji Toda¹, Eisuke Koike², Kazuyoshi Uchihashi¹, Emiko Sonoda¹, Nobuhisa Yonemitsu³,
Hajime Sugihara⁴

¹Department of Pathology & Biodefense, Faculty of Medicine, Saga University, ²Koike Hospital,
³Department of Pathology, Sasebo Chuo Hospital, and ⁴Department of Pathology, International University of
Health & Welfare

2. 甲状腺癌における B-Raf 蛋白発現の変化に関する検討

近藤哲夫、中澤匡男、川崎朋範、中村暢樹、山根 徹、岩佐 敏、加藤良平
山梨大学 医学工学総合研究部 人体病理学講座

3. 甲状腺腫瘍での 53BP1 フォーカス形成の意義:甲状腺癌化過程と遺伝子不安定性

成毛有紀¹、中島正洋²、Serik Meirmanov²、松山睦美¹、鈴木啓司⁴、伊東正博⁵、
山下俊一³、関根一郎^{1,2}

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・原研病理¹、同・原研試料室²、同・原研細胞³、
同・放射線生物⁴、国立病院機構長崎医療センター病理⁵

4. 甲状腺乳頭癌における FISH 法を用いた RET/PTC の検討

中澤匡男¹、村田晋一²、近藤哲夫¹、鈕東峰¹、川崎朋範¹、山根 徹¹、中村暢樹¹、岩佐 敏¹、
加藤良平¹

山梨大学大学院医学工学総合研究部・人体病理学講座¹、埼玉医科大学国際医療センター・病理診
断科²

13:15～13:35 甲状腺他 2

座長 戸田修二 佐賀大学医学部病因病態科学講座病態病理学分野

5. 成熟脂肪細胞、前脂肪細胞及び間葉系幹細胞を有する多機能性脂肪組織の長期培養法

園田恵美子¹、内橋和芳¹、小池英介²、米満伸久³、杉原 甫⁴、戸田修二¹

佐賀大学・医学部・病因病態科学講座・病態病理学分野¹、小池病院²、佐世保中央病院³、国際医
療福祉大学病理学⁴

6. 成人甲状腺濾胞上皮における放射線感受性同定の試み

中島正洋¹、Vladimir Saenko²、松山睦美³、成毛有紀³、鈴木啓司⁴、山下俊一²、関根一郎^{1,3}

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・原研試料室¹、同・原研細胞²、同・原研病理³、同・放射線
生物⁴

13:35~14:05 甲状腺他 3

座長 高松順太 高松内科クリニック

7. 甲状腺平滑筋肉腫の3例

北川 亘¹、伊藤公一^{1,2}、渋谷 洋¹、亀山香織³、赤石純子¹、長浜充二^{1,2}、杉野公則¹、伊藤國彦¹

伊藤病院¹、大須診療所²、慶応大学病理³

8. 乳癌の甲状腺転移と考えられた一例

森川裕子¹、上掘勢位嗣¹、仲谷 了¹、野村雅宏¹、森川秋月¹、小幡雅彦²、安藤政克²
旭川赤十字病院 内分泌代謝科¹、同 病理部²

9. 原発性副甲状腺機能亢進症を呈した副甲状腺癌の2例

中山大子¹、井下尚子¹、大橋健一¹、中西昌平²、高市憲明²、乳原善文²
虎の門病院病理部¹、虎の門病院分院腎センター²

14:05~14:45 下垂体 1

座長 山田正三 虎の門病院 内分泌センター 間脳下垂体外科

10. 下垂体 GH 産生細胞の multipotentiality についての検討

池田秀敏 大原医療センター脳外科

11. GH 産生腺腫の自発分泌の病態生理と病理

高野順子¹、高野幸路¹、佐野壽昭²、高橋倫子³、河西春郎³、山田正三⁴、寺本 明⁵、藤田敏郎¹

東京大学医学部 腎臓・内分泌内科¹、徳島大学病理学²、東京大学大学院医学系研究科疾患生命科学³、虎の門病院間脳下垂体外科⁴、日本医科大学脳神経外科⁵

12. 若年発症成長ホルモン産生腫瘍の臨床像ならびに病理所見の解析

大山健一¹、山田正三¹、福原紀章¹、田中健太郎¹、田口 学²、竹下 章²、竹内靖博²、井下尚子³、大橋健一³、佐野壽昭⁴

虎の門病院内分泌センター間脳下垂体外科¹、虎の門病院内分泌センター内科²、虎の門病院病理部³、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 人体病理学⁴

13. GH 産生下垂体腺腫における octreotide による GH の低下に関する多変量解析: Ki-67 staining index, gsp mutation, SSTR immunohistochemistry

松野 彰¹、中島美智¹、高野幸路²、高野順子²、水谷晃子³、長村義之³、竹井麻生⁴、田原重志⁴、寺本 明⁴、山田正俊⁵、山崎一人⁵、石田康生⁵、宇野健志¹、井出冬章¹、田中純一¹、浅野修一郎¹、長谷川功¹、中口 博¹、村上峰子¹

帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科¹、東京大学医学部腎臓内分泌内科²、東海大学医学部基盤診療学系病理診断学³、日本医科大学脳神経外科⁴、帝京大学ちば総合医療センター病理学⁵

14:45~14:50 休憩

14:50~15:40 特別講演 I

座長 佐野壽昭 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部人体病理学

Effects of treatment on the morphology of pituitary tumors

Kalman Kovacs Department of Laboratory Medicine, Division of Pathology, St. Michael's Hospital,
University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada

15:40～15:50 休憩 (Coffee Break : クリスタルB)

15:50～17:50 シンポジウム「甲状腺疾患の病理と臨床のさらなる融合へ」

座長 山下俊一 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
覚道健一 和歌山県立医科大学人体病理学

- S-1. チェルノブイリ甲状腺組織バンクと小児甲状腺癌の病理像
伊東正博¹、山下俊一²
国立病院機構長崎医療センター¹、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科²
- S-2. サイログロブリン遺伝子異常—細胞内輸送異常と甲状腺癌
菱沼 昭、家入蒼生夫 獨協医科大学臨床検査医学
- S-3. 若年者に発生する甲状腺乳頭癌の病理
加藤良平 山梨大学医学工学総合研究部人体病理学講座
- S-4. 甲状腺微小癌の全身転移例の臨床的・病理学的特徴
伊藤公一 伊藤病院
- S-5. 甲状腺濾胞性腫瘍の病理学的特徴からみた臨床家への提言
亀山香織 慶應義塾大学医学部病理診断部
- S-6. 濾胞性腫瘍の画像診断—超音波検査
福成信博、新井一成、中村明央、樺沢由博、山崎智己、坂上聡史 昭和大学横浜市北部病院 外科
- S-7. 橋本病有痛性急性増悪
小澤安則 虎の門小澤クリニック
- S-8. Riedel 甲状腺炎の病理
山下裕人 野口病院研究検査科

17:50～18:05 総会 (ハynesホール)

19:00 懇親会 (リージェントホール)

懇親会特別講演：橋本策(はかる)の恩師 橋本和夫 金沢大学名誉教授

第2日 [平成19年10月20日(土)]

9:00～9:40 消化器内分泌他 (ハynesホール)

座長 岩渕三哉 新潟大学大学院保健学研究科検査技術科学分野

14. ヒトの正常膵組織、膵内分泌腫瘍、膵腺房細胞癌における Reg I α 蛋白の発現
落合剛史、岩渕三哉、渡辺 徹、池亀央嗣
新潟大学大学院保健学研究科検査技術科学分野
15. 膵島 β 細胞の小胞体—ゴルジ体間輸送に関与するユビキチン連結酵素の分子病理
竹内 保¹、足立義博¹、大拙祐治²、降幡睦夫¹
高知大学医学部病理¹、松山市民病院病理²
16. 多発膵内分泌腫瘍と腎細胞癌を伴った von Hippel-Lindau 病の剖検例
西上圭子¹、森 一郎¹、若狭朋子¹、中村美砂²、尾崎 敬¹、白艶花¹、覚道健一¹
和歌山県立医科大学第2病理¹、大阪河崎リハビリテーション大学²

17. 高ガストリン血症を伴う胃の多発性高分化型内分泌細胞癌の1例

王路¹、佐野壽昭¹、藤井義幸²、沖津 宏³

徳島大学大学院 HBS 研究部人体病理学¹、徳島赤十字病院病理²、同外科³

9:40~10:10 副腎 1

座長 田辺晶代 東京女子医科大学第二内科

18. クッシング症候群を呈した多発性副腎皮質腺腫の一例

重松和人¹、上杉憲子²、吉住秀之³、河合紀生子⁴

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態病理¹、国立病院機構九州医療センター病理²、
同内科³、長崎県健康事業団病理⁴

19. 骨髓脂肪腫様変化を伴った副腎 black adenoma によるクッシング症候群の一例

田中 聡¹、田辺晶代¹、石垣沙織¹、永井智仁¹、相羽元彦²、肥塚直美¹、川真田明子³、
飯原雅季³、小原孝男³、高野加寿恵¹

東京女子医科大学第二内科¹、同東医療センター病院病理科²、同内分泌外科³

20. 巨大な副腎骨髓脂肪腫が契機となって発見された 21-水酸化酵素欠損症が疑われた1例

米満伸久¹、富永 丹²、梶原啓司³、南 祐三⁴、堀上謙作⁵、酒井英樹⁶

医療法人白十字会佐世保中央病院、病理¹、内科²、外科³、泌尿器科⁴、放射線科⁵、
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 病態解析・制御学講座・腎泌尿器病態学⁶

10:10~10:40 副腎 2

座長 相羽元彦 東京女子医科大学東医療センター 病院病理科

21. 腫瘍細胞が緻密細胞主体のアルドステロン産生副腎皮質腺腫の3例

佐藤文俊¹、森本 玲¹、石橋忠司²、荒井陽一³、鈴木 貴⁴、笹野公伸⁴、伊藤貞嘉¹

東北大学病院腎高血圧内分泌科¹、放射線部²、泌尿器科³、病理部⁴

22. アルドステロン産生腺腫か片側副腎過形成か鑑別が困難な一症例

重松和人¹、酒井英樹²、河合紀生子³

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態病理¹、同泌尿器科²、長崎県健康事業団病理³

23. 肝硬変症に伴う腹水貯留例における副腎皮質球状層と腎レニン産生細胞の形態変化

木村伯子¹、米沢一也¹、三浦幸雄²

独立行政法人国立病院機構函館病院臨床研究部¹、独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災病院内科²

10:40~11:20 パラガングリオーマ・カルチノイド

座長 木村伯子 独立行政法人国立病院機構函館病院臨床検査科、臨床研究部・病因病態研究室

24. 腎盂癌に合併した微小パラガングリオーマの一例

菅間 博¹、藤原正親¹、原 由紀子¹、坂本穆彦¹、木村伯子²

杏林大学・医学部・病理¹、国立函館病院・病理²

25. 小腸粘膜下腫瘍として剖検された後腹膜パラガングリオーマの一例

木村伯子^{1,2}、石舘卓三¹

独立行政法人国立病院機構函館病院臨床検査科¹、臨床研究部・病因病態研究室²

26. 直腸に多発性カルチノイド腫瘍と腺癌の合併した一例

池亀央嗣、岩渕三哉、渡辺 徹、落合剛史

新潟大学大学院保健学研究科検査技術科学分野

27. 右肺中葉大半を占める carcinoid-tumorlet の 1 例
井坂光宏、奥村武弘、近藤晴彦、渡邊麗子、亀谷 徹
静岡県立がんセンター

11:20～12:00 下垂体 2

座長 井上金治 埼玉大学大学院理工学研究科細胞制御学研究室

28. 下垂体濾胞星状細胞の食作用に関する研究
大平公亮、板倉英祐、大砂まるみ、横山孝太郎、井上金治
埼玉大学理工学研究科細胞制御学研究室
29. 下垂体腫瘍細胞から同定された新規の分泌タンパク質について
片岡太郎、楠田美枝、Sukumar Devnath、菊地博之、袋 公美、熊田裕子、大平公亮、板倉英祐、
横山孝太郎、井上金治
埼玉大学大学院理工学研究科細胞制御学研究室
30. Reduced expression of the let-7 microRNAs in human pituitary adenomas in association with pituitary tumorigenesis through regulating HMGA2 expression
Zhi Rong Qian¹, Toshiaki Sano¹, Shozo Yamada², Yun Feng Yuan¹, Katsuhiko Yoshimoto³, Eiji Kudo¹
¹Department of Human Pathology, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan
²Department of Hypothalamic-Pituitary Surgery, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan
³ Department of Medical Pharmacology, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan
31. The pi-class glutathione S-transferase (*GSTP1*) may be a novel tumor suppressor gene in pituitary tumorigenesis
Yun Feng Yuan¹, Zhi Rong Qian¹, Toshiaki Sano¹, Katsuhiko Yoshimoto², Shozo Yamada³, Eiji Kudo¹
¹Department of Human Pathology, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan
²Department of Medical Pharmacology, Institute of Health Biosciences, The University of Tokushima Graduate School, Tokushima, Japan
³Department of Hypothalamic-Pituitary Surgery, Toranomon Hospital, Tokyo, Japan

12:00～12:10 休憩

ランチョンレクチャー 第 11 回日本内分泌病理学会・第 9 回北海道甲状腺講演会共同開催

12:10～12:55 会長講演

座長 笹野公伸 東北大学大学院医学系研究科医学部病理病態学講座病理診断学分野
私の歩んだ臨床甲状腺病学一症例から学んだこと
上條桂一 上條内科クリニック院長・上條甲状腺研究所所長

12:55～13:00 休憩

13:00～13:50 特別講演Ⅱ

座長 長村義之 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学

The value of ultrastructural investigation in pituitary pathology: emergence of a new paradigm

Eva Horvath Department of Laboratory Medicine, St. Michael's Hospital,
University of Toronto, Toronto, Ontario, Canada

(主催：シーメンスメディカルソリューションズ・ダイアグノスティクス（株）)

13:50～14:00 休憩 (Coffee Break : クリスタルB)

14:00～14:30 下垂体他 3

座長 肥塚直美 東京女子医科大学内分泌センター内科

32. 当院における下垂体疾患の病理診断

井下尚子¹、中山大子¹、野口寛子¹、大田泰徳¹、藤井丈士¹、大橋健一¹、山田正三²、
佐野壽昭³

虎の門病院病理部¹、虎の門病院間脳下垂体外科²、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究
部人体病理学³

33. 第三脳室の ameloblastic carcinoma の一例

西岡 宏¹、渋谷 誠²、伊澤仁之¹、池田幸穂¹

東京医科大学八王子医療センター 脳神経外科¹、病理診断部²

34. 臨床的に下垂体腺腫と鑑別困難で病理診断に難渋した極めてまれなトルコ鞍部腫瘍の一例

福原紀章¹、大山健一²、臼井雅昭¹、井下尚子³、大田泰徳³、大橋健一³、佐野壽昭⁴、
山田正三²

虎の門病院脳神経外科¹、虎の門病院間脳下垂体外科²、虎の門病院病理部³、徳島大学医学部人体
病理学⁴

14:30～15:00 下垂体 4

座長 寺本 明 日本医科大学脳神経外科

35. Preclinical Cushing 病を呈した Giant corticotroph atypical adenoma の1例

渡邊颯子¹、中洲庸子²、三矢幸一²、村松浩二³、伊藤以知郎¹、亀谷 徹¹

静岡県立静岡がんセンター 病理診断科¹、脳神経外科²、診断技術開発研究部³

36. プレクリニカルクッシング病の下垂体マクロアデノーマ組織における 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase type2 の発現に関する検討

海老澤高憲¹、東條克能¹、赤司俊彦¹、田嶋尚子¹、神尾正己²、沖 隆³、小野克彦⁴、
笹野公伸⁴

東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科¹、同脳神経外科²、浜松医科大学第二内科³、東
北大学病理診断学⁴

37. Combined supra-infrasellar approach により摘出した sub-clinical Cushing disease の一例

田中健太郎¹、山田正三¹、福原紀章¹、大山健一¹、井下尚子²、大橋健一²、館野 透³、
佐野壽昭⁴、沖 隆⁵

虎の門病院間脳下垂体外科¹、同病理部²、東京医科歯科大学内分泌代謝内科³、徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部人体病理学⁴、浜松医科大学内分泌代謝内科⁵

15:00～15:30 下垂体 5

座長 佐野壽昭 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部人体病理学

38. 下垂体 TSH 産生腺腫における SSSTR subtype の免疫組織化学的発現検討

竹井麻生^{1,2}、鈴木雅規¹、石井雄道¹、田原重志¹、山王なほ子¹、長村義之²、寺本 明¹
日本医科大学 脳神経外科¹、東海大学 基盤診療学系 病理診断学²

39. GH と GHRH 同時産生下垂体腺腫の頻度と病理組織像

片上秀喜¹、山田正三²、松野 彰³
帝京大学ちば総合医療センター 内科臨床研究部¹、同脳神経外科³、
虎の門病院間脳下垂体腫瘍外科²

40. ソマトスタチン (SRIF) 産生の Null cell type 下垂体腺腫の内分泌病理像

片上秀喜¹、奈須和幸¹、山下佳代子²、大山健一³、山田正三³
帝京大学ちば総合医療センター 内科臨床研究部¹、聖マリアンナ医科大学解剖学教室²、
虎の門病院間脳下垂体腫瘍外科³

15:30～17:00 クリニカルアワー 「副腎疾患の臨床と内分泌病理のさらなる融合へ」

— 内分泌病理が診断、治療方針の決定に重要であった症例の提示と解説 —

座長 成瀬光栄 京都医療センター内分泌代謝科

河合紀生子 長崎県健康事業団病理部

C-1. 病理学的に低分化型を呈した左副腎褐色細胞腫の臨床的意義

立木美香¹、田辺晶代¹、大和田里奈¹、木村伯子³、田邊一成²、高野加寿恵¹
東京女子医科大学第二内科¹、同泌尿器科²、国立病院機構函館病院臨床研究部³

C-2. ミエロリポーマ様変化を伴ったプレクリニカルクッシング症候群の一例

塚本幸子¹、森 栄作¹、木村 崇¹、萩原英恵¹、玉那覇民子¹、田中公貴¹、臼井 健¹、
田上哲也¹、島津 章¹、奥野 博²、南口早智子³、相羽元彦⁴、成瀬光栄¹
京都医療センター 内分泌代謝科¹、泌尿器科²、研究検査科³、東京女子医科大学東医療センター
病理科⁴

C-3. 左副腎偶発腫瘍で発見されたプレクリニカルクッシング症候群に原発性アルドステロン症を合併した一例

柴田洋孝¹、横田健一¹、武田彩乃¹、三石木綿子¹、中川 健²、大家基嗣²、笹野公伸³、
伊藤 裕¹
慶應義塾大学医学部内科¹、同泌尿器科²、東北大学医学部病理診断学³

C-4. 二度目の再発・転移が疑われる副腎外悪性褐色細胞腫の一例

方波見卓行¹、松井智也¹、松井貴子¹、佐藤智子¹、小田中美恵子²、中野 浩³、田中 逸¹
聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科¹、同 診断病理²、同 消化器・一般外科³

コメンテーター

相羽元彦 東京女子医科大学東医療センター 病院病理科

木村伯子 独立行政法人国立病院機構函館病院臨床検査科、臨床研究部・病因病態研究室

笹野公伸 東北大学大学院医学系研究科医学部病理病態学講座病理診断学分野

17:00～17:10 研究賞授賞式

17:10～17:15 閉会の辞